



「熱」 騒動

パナソニックエイジフリー介護千ヶ丘

「熱中症」今年の夏も、中高生やお年寄りが熱中症になり、救急搬送されたニュースが沢山流れました。暦の上では立秋を過ぎたとはいえ、まだ暑い日が続きますので注意しましょう。室内に居ても熱中症になるそうですから、小まめな水分補給を心掛けてください。

「 Dengue 熱」代々木駅もある東京の山手線に、何十年振りかに新しい駅ができると話題になったと思ったら、三大塾（河合塾、代々木ゼミ、駿台予備校）のひとつの代々木ゼミが事業縮小するという報道が流れ、今度は代々木公園の蚊が媒介しての Dengue 熱。。。。。

こんなに「代々木つながり」のニュースがありました。代々木公園では常にイベントが開催されていますが他の県でも代々木公園に行っていないのに Dengue 熱にかかったというニュースが流れてきています。これから秋にかけて、あちらこちらで国際的なイベントもあります。どの程度の影響があるか心配です。



Dengue 熱と勘違いしそうな Dengue 熱は、資料によれば、熱帯縞蚊やヒトスジ縞蚊によって媒介されるウイルス性の感染症で、予防ワクチンはなく、輸液などの対症療法しかない、ヒトスジ縞（？）ではいけない病気だそうです。症状は発熱や頭痛などで、多くは1週間程度で回復するそうですが、一部の患者では出血症状が現れ、重症化するようです。熱帯や亜熱帯で多くみられ、台湾でも発生しているそうです。日本では海外で感染し（ヒトからヒトへうつらないので、蚊に刺された）帰国後に発症した例が年間200例も報告されているそうです。

代々木公園の蚊は、外国で Dengue 熱に感染してきたヒトの血を吸い、その蚊が違うヒトの血を吸うとき、うつしてしまうとのことです。厚生省や東京都は公園に駆除剤をまいたり、池の水を干したりして防疫に一生懸命ですが、代々木公園には近づかないのがよさそうです。

最近、東京で乗ったタクシーの運転手さんは代々木公園からは離れていましたが「蚊に刺された」と言って大騒ぎしていました。日本では、今まであまり聞かなかっただけで、今後はアジアとの貿易も盛んになってくるので、もう少し神経を使ってもよい時期に来ているのかもしれませんが。都会で、緑が多く、一年中暑いシンガポールでは常に駆除はしていると聞いています。



「 Ebola 出血熱」 Dengue 熱と前後して、Ebola 出血熱も話題になりました。Ebola 出血熱はアフリカ大陸で突発的に発生・流行し、感染したときの致死率は50～90%と非常に高いとのことです。最初の患者の出身地付近である、ザイールの Ebola 川から、Ebola ウィルスと名付けられ、病名も Ebola 出血熱と名付けられたそうです。

患者の飛沫が感染源となり、死亡した患者からも感染する恐ろしい病気ですが、Ebola ウィルスの感染力は強いものの基本的に空気感染せず、感染者の体液や血液に触れなければ感染しないと考えられています。また、アルコール消毒や石けんによる消毒が容易であり、大きな変異がない限り先進国での流行の可能性は低いと考えられているのがせめてもの救いです。

渡邊啓視